

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDF ファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	福井大学大学院	個人・グループ名	畑田耕佑	作品名	雑木・間伐材を用いた台車式ワークベンチ
< 製作の背景 > 製作の背景は以下の3つである。 ○間伐材の有効利用を視点にした教材開発 ○幼児期の発達段階における木育活動の必要性 ○幼児教育施設での木製玩具の不足 以上のことを踏まえ台車式ワークベンチ(図1)の製作を行った。					 図1 ワークベンチの外観
< ワークベンチの特徴 > ①部品をピンで台に打ち、 木製ボルトで固定して遊ぶ (図2) ②部品を組み合わせて遊ぶ (図3) (図4)					 図2 遊びの様子  図3 作品1  図4 作品2
< 幼児玩具の反応 > 幼児が興味・関心を抱き、本ワークベンチで遊んでいる様子を見ることができた。実際に幼児がピストルといった物を組み立て遊んでいる姿(図5)やワークベンチを押して遊んでいる姿(図6)を見ると木の材料としての温かみや良さに触れている。 また、本ワークベンチを使うことで、幼児は創造性や探求力といったものづくりの知的発達の素地を養うことができる。 保護者の方からのご意見は「木のぬくもりを感じることができ、天然素材であるので害がなく、1つの部品から大きなものが作れるという達成感を味わうことができる。」また、「部品を使って様々な組み立てから想像力を養う基礎となる。」といった声を頂戴し、保護者の方自身も興味を持たれていた。					 図5 ピストル遊び  図6 台車押し